

適切な方法で 飲み物を選択するには？

重度の知的障害を併せ有する肢体不自由児の
実態把握を共有するためのiPad連絡帳の取り組み

香川県立高松養護学校



好きな飲み物って
飲めていますか？

飲み物を使って勉強すれば

選んだものがすぐに味わえる

好きそうな飲み物、嫌がりそうな飲み物

「欲しい・欲しくない」を伝える力

実際に飲む前に 意思を表現する方法を育てる

選択する力

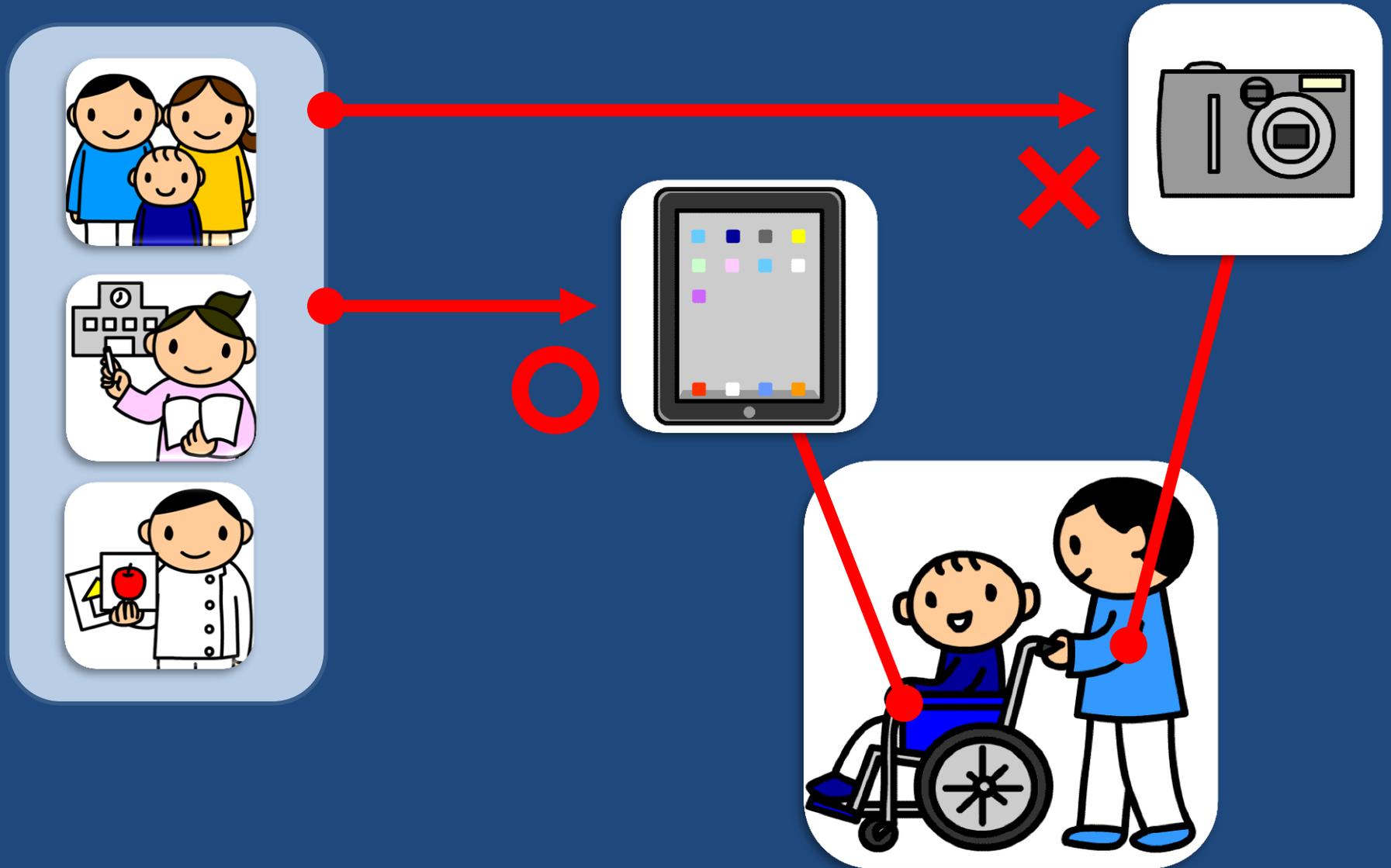
取り組みのねらい

- 飲み物を使って意思を相手に伝える練習をすることで、子どもの表現が分かりやすいものになっていくのではないかと
- 聞き取り方を整理し、教員と保護者でその方法を共有することで、具体的に生活が子ども主体のものに変わっていくのではないかと

→ iPad連絡帳で共有する



iPad連絡帳としての活用



事例A

小学部6年生男子。
知的障害と脳性まひ
視覚障害(眼鏡装用)



- ・発語は「あ、ぱ、だ」など
- ・日常生活で使う単語を言葉で理解できる
- ・嫌なときには泣くなどで伝える
- ・経時選択。選ばないときには無言、選ぶときだけ返事をするという方法で意思を伝えている

・食べ物で苦手なものは、最後まで選ばない傾向があるが、最後にはしっかりと食べる

取り組みの目的（A児）



- 嫌な飲み物を拒否したり、飲みたいものを要求したりするための適切な手段を身に付ける
- iPad連絡帳に聞き取り方を蓄積していく

取り組みの方法（1時間／1-2週）

- 「コーラ、アクエリアス、紅茶、トマトジュース」など飲み物を準備し、いくつか飲んでもらう
- その様子をiPad連絡帳に記録して持ち帰る
- 家庭でも撮影してもらい、学校で見る

紅茶？アクエリアス？コーラ？



※撮影はご遠慮ください

この時のエピソード

学校では



何でも飲むからよく分らない

家庭では



繰り返し飲んでしまう事件

→ 飲み物は一つずつ、ゆっくりと待つことから

じっくりと待ってみると



一口飲んだあと、トマトジュースを
じっくりと提示してみました

※撮影はご遠慮ください

A児の選択方法

まずは一口飲み、
もう一口をコップに注いで
A児の目の前で匂いを嗅がせる



「飲む・飲まない」の意思を表現した。

普通に飲ませると、とりあえず飲んでしまうので
よく分からなかった。

事例B

中学部2年生男子。
知的障害と脳性まひ
自閉性の傾向が見られる



- ・発語は喃語のみ
- ・簡単なシンボルカードを教師に渡す
- ・嫌なときには泣くなどで伝える
- ・同時選択。写真や実物などで選んでいる。

・食べ物で苦手なものは、最後まで選ばない傾向があるが、最後にはしっかりと食べる

取り組みの目的（B児）

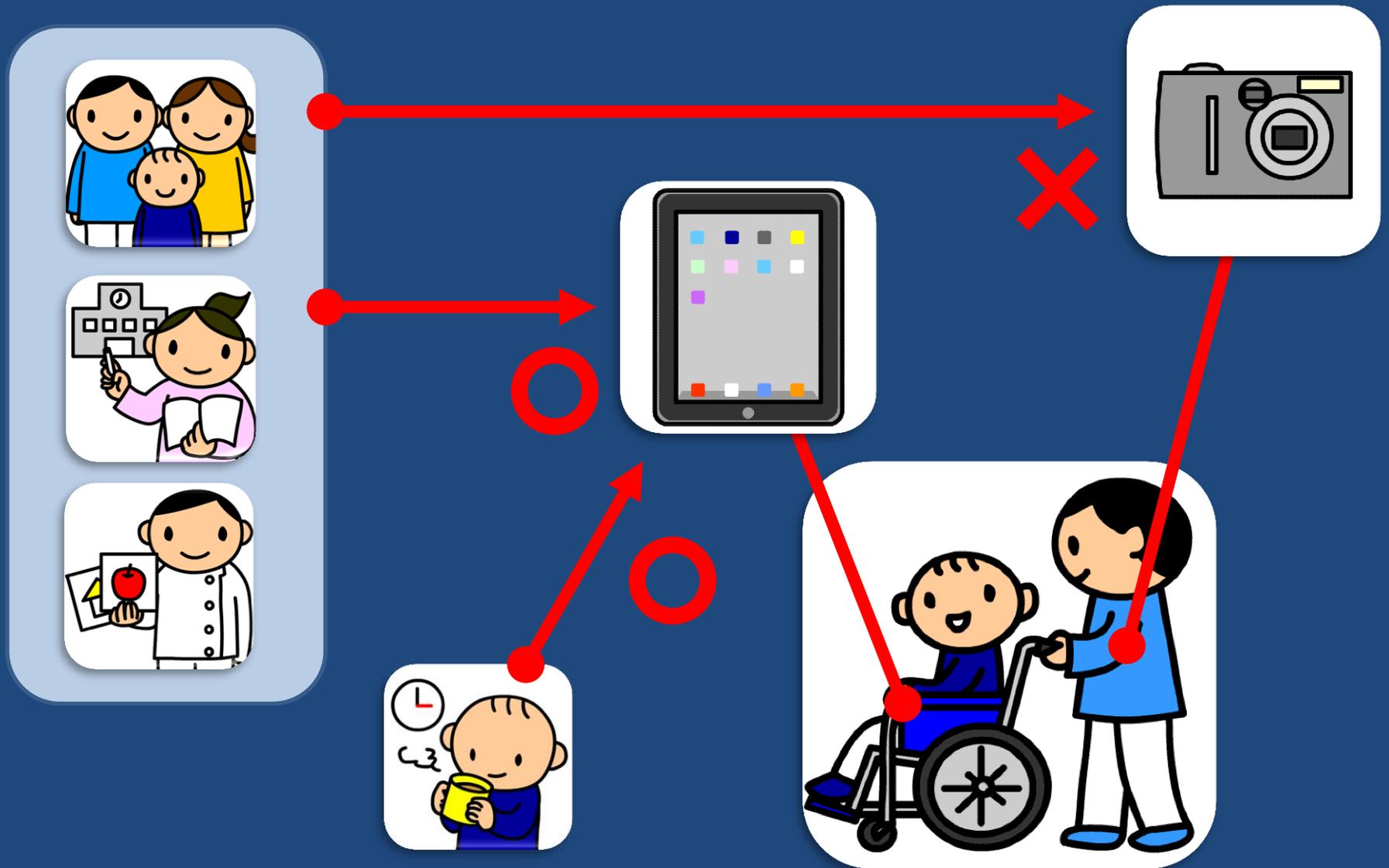


- 嫌な飲み物を拒否したり、飲みたいものを要求したりするための適切な手段を身に付ける
- iPad連絡帳に情報を蓄積する

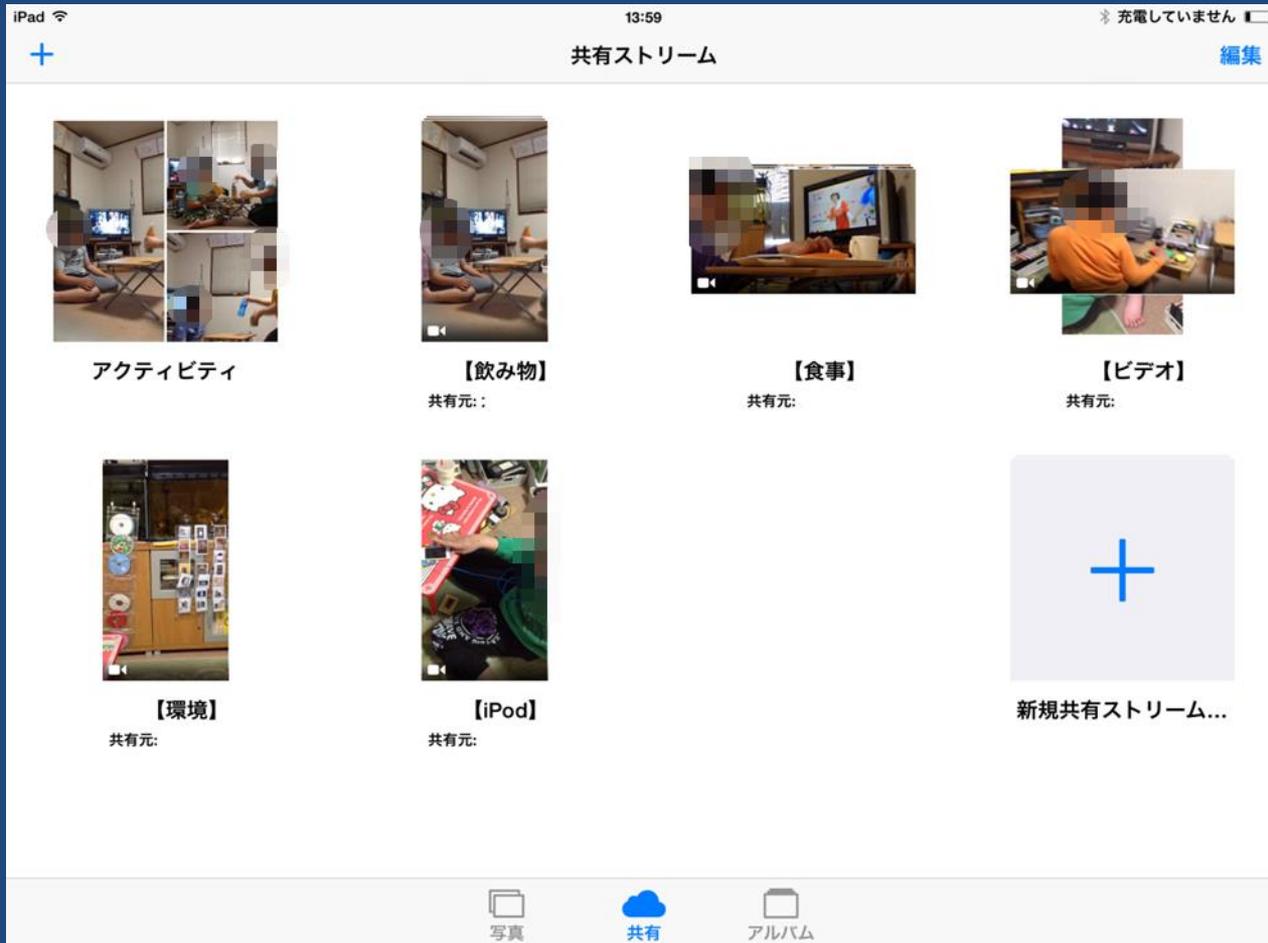
取り組みの方法（保護者学習会）

- ポンジュース、カフェオレ、トマトジュース、など飲み物を準備し、いくつか飲んでもらう
- 家庭での取り組みの様子を、iPadの標準機能「共有フォトストリーム」で共有する

iPad連絡帳＋共有ストリーム



共有フォトストリーム



取り組み始めすぐのエピソード

- 始めは嫌がったけど、すぐに色々飲むことができるようになった。
- すると、今まで選んでいた牛乳を選ばなくなった？

自立活動部通信

エピソード 牛乳を選ばなくなったBくん

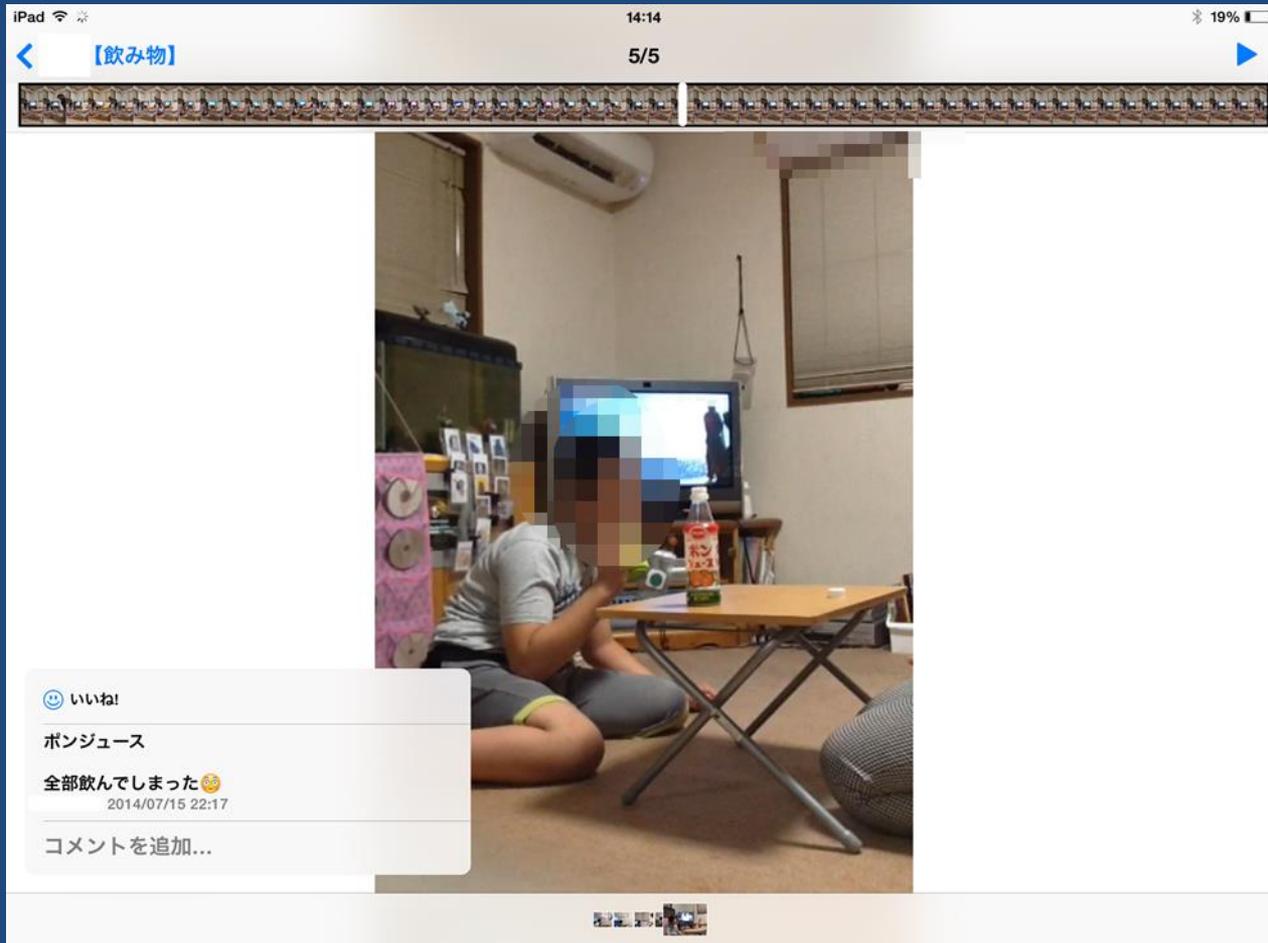
好きな飲み物は牛乳だと、ずっと思われてきたBくん。ある日お母さんは色々な飲み物をゆうくんに飲ませてみました。初めは少し嫌がりましたが、すぐに「あれ、これ美味しい」という表情に。

すると、Bくんは牛乳を選ばなくなりました。これまで、いろいろな飲み物を飲んだ経験が少なかったのです。いろいろな味を知らないつまらない人生にするとお母さんは思ったそうです。

- 経験不足から来るもの？
- 一つずつゆっくりと飲むところから



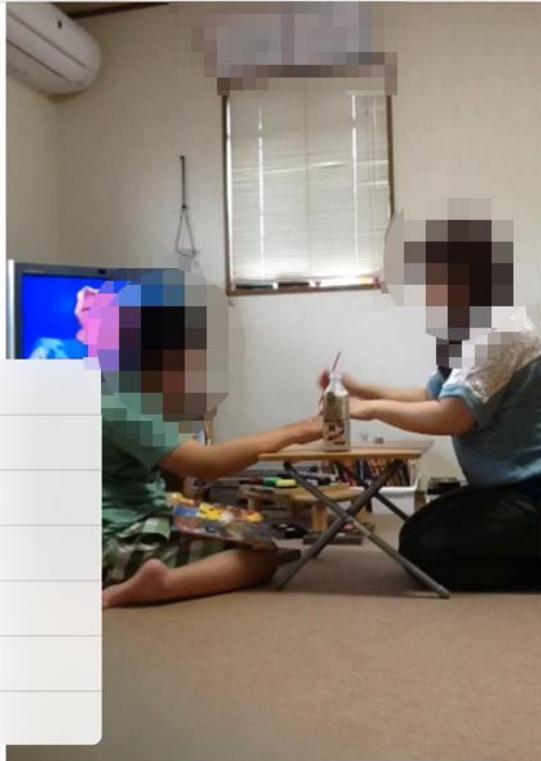
ボンジュース



カフェオレ

iPad 14:14 19%

< 【飲み物】 4/5 >



😊 いいね!

カフェオレ
2014/06/29 19:50

早く飲ませて！って感じですね。
あなた 2014/06/29 21:26

喉乾いていましたか？
あなた 2014/06/29 21:26

喉は渴いていたと思います。
2014/06/29 21:50

その状況も含めて、面白いですね。
あなた 2014/06/29 21:52

コメントを追加...



トマトジュース



この時のエピソード

- トマトジュースや抹茶などで拒否のような反応が
- 手を押し返すような動き
- でも、すぐには出てこない
- いらぬ時には、落ち着いて手を押し返して伝えて欲しい

じっくりと聞いてみる



一口飲んだあと コーヒーを
じっくりと提示してみました

B児の選択方法

まずは一口飲み、
もう一口をコップに注いで
B児の目の前までもっていく

「飲むか飲まないか」の意思を表現した。

パッケージを見せるだけでは、
意思の表現は行わなかった。

まとめ：取り組みの成果

- 飲む直前までのプロセスをじっくりと時間をかけることの重要性に気がついた。



- 「飲む／飲まない」の表現が見られるようになってきた。
- 児童の表現が出るタイミングが分かった。

まとめ：iPad連絡帳の活用

- 気軽に動画を共有し、すぐにその場で複数の人で見ることができた。
- 動画を用いることで意思を確認する具体的な方法を保護者と共有できた。



- どちらの保護者も、取り組みを始める前は、お子さんの好きな飲み物は知っていると答えていたが、実際に再現してもらうことで、聞き方を工夫してくれるようになった。

まとめ：気がついたこと①

- 重度重複障害をもつお子さんが飲み物を拒否する場合であっても、経験不足が背景にあるかもしれないということ。
- 「好きなもの」と「どうでもいいもの」で生活ができているかもしれないということ。



- 「好き、快」だけではなく「嫌い、不快」を計画的に取り入れていく必要性があること。

まとめ：気がついたこと②

- 経験不足を補いながら、意思の確認方法を調整していく必要があるということ。
- それを同時に行うことに難しさを感じた。



- 実践の進め方の整理が必要。

今後の取り組み

- A児

ジュースの見せ方を工夫することと、
言葉との結びつきを学習しやすくする



- B児

画像もしくは動画を見てノーマルを伝える



今後の取り組みの延長線で、
iPadの効果的な導入方法を検討しています

今後の取り組み

好きな飲み物

好きな過ごし方

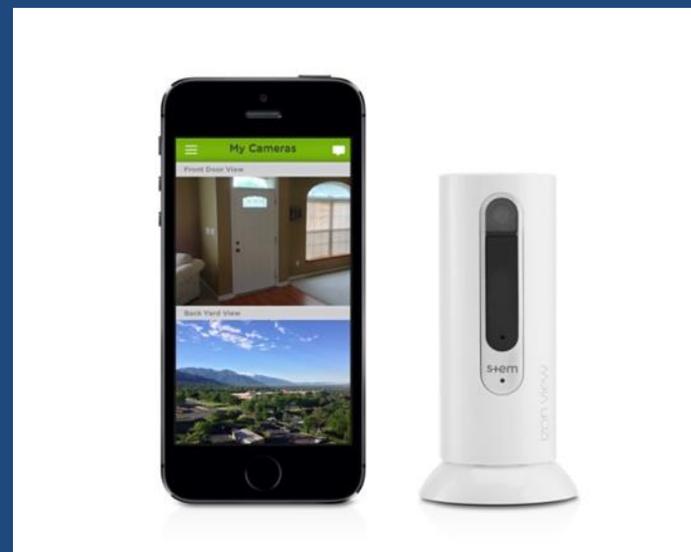
安全確保の仕方

支援者がいなくても
過ごせるか！？

留守番
プロジェクト

子ども主体の
時間と空間

留守番ということなら



ご静聴ありがとうございました